



# あおい 2024

郡山市立守山小学校  
令和7年3月3日  
学校だより No. 20

## ご多忙のところ、 ありがとうございました

2月28日（金）に奉仕活動（窓ふき）と授業参観、学年懇談会に多くの保護者の皆様においでいただきまして、ありがとうございました。

日頃、できない外側のガラスを丁寧に美化していただきましたので、窓が透き通るような錯覚をしました。また、各学級での授業には、教室からはみ出して廊下から参観される方もいらっしゃいました。お子さんの一人一人の学びの姿から、この1年で心身ともに成長したことを実感されたと思います。日常からの健康維持から始まり、励ましの言葉かけなど、たいへんお世話になりました。



## 感染症拡大のヤマ場を越えた

年末年始、インフルエンザの大流行とともに、忘れたころにやってくる新型コロナウイルス感染症の流行も重なり、学校では「手洗い」「換気」「マスクの着用」を励行するように働きかけてまいりました。

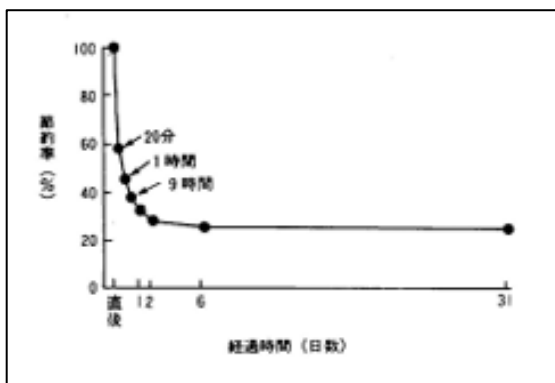
2月になってから、福島県・県中・郡山市の定点医療機関における患者数がかなり落ち着いてきて、本校でも1～2名程度の推移でした。月後半は感染症で欠席する児童数が0になりました。ご家庭でも継続して取り組んでいただいたからこそその結果と認識しております。

授業日数	1 2月3日	2 2月4日	3 2月5日	4 2月6日	5 2月7日	6 2月10日	7 2月12日	8 2月13日	9 2月14日	10 2月17日	11 2月18日	12 2月19日	13 2月20日	14 2月21日	15 2月25日	16 2月26日	17 2月27日	18 2月28日	1日あたりの人数
インフルエンザ	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2
新型コロナウイルス感染症	1	1	1	1	1	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.6
かぜ症状	10	11	12	6	5	10	9	6	5	10	8	11	11	8	10	10	12	9	9.1
腹痛・嘔吐・熱心	0	0	0	2	0	0	3	2	1	2	1	1	1	0	3	2	1	0	1.1
通院・検育 その他の場所	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0.4
その他	3	2	3	1	3	2	2	2	1	2	1	1	1	2	3	1	2	5	2.1
合計	15	15	17	12	10	12	16	12	10	14	10	13	14	10	16	16	15	14	13.4

# 春休みの過ごし方が 次の学年での学びに大きな差

春休みは宿題がありません。毎日、宿題に追われていたのだから春休みぐらい、自由に遊ばせてほしい…と思うのは予想できますし、メリハリをつけて生活することは良いことです。

しかし、今まで努力して身につけてきたことを振り返らないと、忘れてしまうのは人間の常。特に、集中して学んできたことや運動能力は、使われないと内部で「これは価値のないもの」と切り替えてしまい、加速度的に機能を低下させてしまいます。



左のグラフは、有名な「エビングハウスの忘却曲線」というもので、例えば「意味のない数字の羅列」を覚えて、どのくらい維持できるのかを実験したものです。

直後から忘却は始まり、1時間後には50%も正確に覚えていないですし、1日経過すると30%ぐらいしか覚えていないということを示しています。見方によっては、何もしなくても20%~30%ぐらいは覚えている、ということもできます。

復習をする！となると、1年間全部の内容をしようと思しますが、それはかえって心身に強いストレスがかかって健康を損ないます。そこで、何ができて何ができないか、はっきりすることが必要です。

- 1 問題数は少なく・答えをおぼえるぐらいまで繰り返す。**
  - 理解していないのに、大量の問題を解かせることは「修行」と同じで、知識の理解や定着に繋がらない。
- 2 わからないことは、すぐに聞いてよい。**
  - 聞くは一時の恥 聞かぬは一生の恥
  - 根性とか、がんばるとか、いっさい関係がない
- 3 「できた姿」をほめる**
  - 今までのことは、振り返らない
  - できたことは「自己肯定」「努力」に繋がる